小樽商大緑丘新聞

発行所
小樽商科大学緑丘新聞会
小樽市緑町5丁目番外地
TEL ⑤ 1101
購読料　半年100円　一年200円

来年真の政治学を

『履修届、出す前』

ユガメられた政治學講座

[illegible]

緑丘会寄贈講座第一年目に来学した大塚金之助慶応大学講師は、社会主義思想の源流について五日間にわたって講義。若い時[illegible]に通って習得したという巧みな話術と、戦時中ファシズムの重圧下にあってその人間的良心を貫いた風雪に耐えた高僧の如き風格はもうそれだけで大きな感銘を与えた。

〜写真は最後の別れを惜しむ大塚金之助氏夫妻、クラブの前にて〜

政治学講座正常化
要望同志会発足す

[illegible]

寄贈講座のあり方
学生の希望も採り入れよ

[illegible]

焦点

[illegible]

闘争委アッピール

安保改定の怒りを

履修拒否で示そう

日米安保条約改定反対の運動を我々は過去一年半に亘って、執拗にしかも力強く続けてきた。[illegible]

みると、五月十九日の学生大会で二十日の統一行動における我々の行動を午後三時から開始と決定していたが、十九日深夜自民党内閣の暴挙を見るに及んで我々学生の怒りは爆発し、二十日早朝から学生が続々と集まり、[illegible]を行った。

[illegible]

一九六〇年六月二日

安保改定阻止闘争委員会

時代錯誤の大平主張

未だに力の対決を説く

大平教授が、[illegible]

[illegible]

K・Y（三十二年度生）

写真は……公聴会において意見をのべる大平教授

（右端立てる人）

公聴会での大平発言

一、私の主張は[illegible]

[illegible]

岡田春夫氏（社）との質疑応答

[illegible]

大平善梧氏（自民推薦）[illegible]

岡田氏　[illegible]

大平氏　[illegible]

（三十五年度Y・L）

浜林・大平論争

朝日新聞「声」の欄より

藤山外相に質問する

小樽商大助教授　浜林正夫

「安保改定は[illegible]憲法のワク内で」[illegible]

「憲法のワク内」の意義

一橋大教授　大平善梧

[illegible]

×　×

失笑をかった大平発言

[illegible]

声

こんな馬鹿な話はない

[illegible]